

## 茨城県農林水産部長賞

おぬきちいきしげんほぜんかい

### 小貫地域資源保全会（常陸大宮市）

## 農業由来の文化伝承による地域交流活性化と自主施工による環境改善

### 1 活動組織の概要

取組開始年度	平成 27 年度
組織構成	1 集落， 農業者 83 名， 非農業者 30 名， 子供会， 水利組合， 消防団ほか
支払区分	農地維持支払， 資源向上支払（共同， 長寿命化）
対象農用地	60.6ha（水田 57.25ha， 畑 3.35ha）
対象施設	開水路 16.5km， 農道 14.0km
交付金額（H29）	5,437 千円



水路の補修



自主施工による水路の嵩上げ工事

### 2 主な活動内容

準備点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の点検，機能診断（4月，8月）</li> <li>遊休農地発生状況調査（4月，8月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度活動計画の策定（4月）</li> <li>農業者（土地持ち非農家含む）の検討会の開催（10月，3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地発生防止の保全活動（7月，10月）</li> <li>水路，路肩，法面の草刈り（6月，7月，8月）</li> <li>水路の泥上げ（6月，7月，8月）</li> <li>用水施設の機能診断，保守（4月，8月）</li> <li>景観形成のための植栽（4月，10月）</li> <li>農村文化の伝承事業の藁人形作成（8月） ※伝統祭事オカシマサマに使用</li> </ul>

### 3 地域の状況と取り組みへのきっかけ

- ・本地区は，常陸大宮市の北部に位置し，久慈川左岸に主要な農用地がある地域です。少子高齢化や担い手不足により，農地や農業用施設を適正に維持管理することが困難になりつつあり，耕作放棄地も増加していました。
- ・これらの問題を解決するために，平成 27 年度に組織を設立し，活動を開始しました。

#### 4 特徴的な取組

- ・ 地域の高齢化により 10 年以上前に途絶えていた伝統祭礼「オカシマサマ（害虫・疫病除け）」を復活させ、その祭事の際に神社に奉納する藁人形作りの伝承を行っています。
- ・ 水路の嵩上げ等、有識者の協力を得ながら自主施工することにより、地域の農業施設の維持管理への意識も高まり若い世代の共同活動への参加が増加しました。



遊休農地保全のための植栽を実施



自主施工による嵩上げ工事済みの水路



コスモスの植栽・看板を設置



伝統祭事「オカシマサマ」の復活

#### 5 取組の成果・効果

- ・ 地域の伝統行事「オカシマサマ」を復活させ、お年寄りから子どもまで、幅広い層の交流の場の提供につながりました。
- ・ これまで外注してきた工事を自主施工することで、地域の維持管理への意識が高まりました。
- ・ 少子高齢化や担い手不足により、耕作放棄地の増加が懸念されるなか、農地環境の改善につながりました。